常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和2年5月8日
鹿児島市立伊敷中学校

一日も早い終息を願って

校長　河瀬　雅之

活動自粛の中、大型連休が終了しました。緊急事態宣言の対象が、全国に拡大されたことを受け、この連休中は人の動きが大きく変わりました。皆さんもいつもとは違う雰囲気の中、不自由な連休を過ごされたことと思います。

さて、鹿児島市内の公立小中学校では、今月七日、八日の臨時登校日を経て、来週十一日から、授業を再開する運びとなりました。「まだ、緊急事態宣言が解除されない中で、なぜ今登校再開？ーそうお思いになる方もいらっしゃるかもしれませんが、この判断は、文部科学省の通知が根拠となっています。皆様にもご理解いただくために、今回はその一部を紹介します。

○　コロナ対策懇談会提言より

・社会全体が、長期にわたり、この新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、ウイルス拡大のリスクを可能な限り低減しつつ段階的に実施可能な教育活動を開始し、その評価をしながら再開するという考えが重要。

・緊急事態宣言の指定区域内であっても、地域や生活圏によって感染の状況は異なることから、一律ではなく地域の状況を踏まえて、段階的に学校教育活動を開始していくことも可能。

○　文部科学省の考え

・この提言を踏まえ設置者（市町村教育委員会）において可能な限り感染及びその拡大のリスクを低減させながら学校における教育活動を行うための在り方を示す。

それ以下、学校再開に当たっての留意点について具体的な記述が続きます。【参考：新型コロナウイルス感染症対策としての学校の臨時休業に係る学校経営上の工夫について（通知）】

この通知を受け、鹿児島市教委では学校を再開するにあたり、学校及び家庭へ以下のような対応協力を求めています。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

学校へのお願い

- ○　教室のこまめな換気
  - ・休み時間は教室から一旦出る
- ○　手洗い等の時間確保
- ○　３密を避ける工夫
- ○　授業中のマスク着用
- ○　授業中の飛沫防止策
- ○　物品の貸し借りをさせない
- ○　生徒の状態把握と心のケア
- ○　「新しい生活様式」の指導

家庭へのお願い

- ○　毎朝自宅での検温,健康ﾁｪｯｸ
- ○　登下校時のマスク着用
- ○　抵抗力を高める生活リズム
  - ・　十分な睡眠
  - ・　適度な運動
  - ・　バランスのとれた食事
- ○　移動が県境を越えた場合には２週間の自宅待機
- ○　手洗い，顔洗いの習慣化

当面の部活動について

部活動については、年度当初から十分な活動の実施ができていません。今後の中体連等各種大会の目標が立てられないなど、見通しが立っていても現時点では、今後の学校再開に伴い部活動についても現時点では、今後の学校再開に伴い部活動については、最大限の感染拡大防止策を講じた上で、身体的に過度な負担がかからない運動を行うよう、また、当面の間は週休日の部活動は行わないようにとの指示が市からありました。

大舞台を前にして大切な足のけがをしてしまったり、一年間やってきたことは、一かばちかの勝負ではないんだな。」と言っていたネット動画等も参考に、今までできる運動にチャレンジして